キリマンジャロの雪（1952）

THE SNOWS OF KILLIMANJARO

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス　アドベンチャー
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　114分
初公開日 1953/01/13
公開情報 ＦＯＸ極東

【解説】

　ヘミングウェイの原作は短篇で、キリマンジャロの麓で死にかかった作家の、過去の回想というより、断片的な記憶の甦りが妻との会話の形であっさりと綴られているのだが、それを映画は思いきり膨らませ（いわゆるヘミングウェイ的世界を観光案内風に付け足して）二時間の内容にしている。主人公ハリーはシカゴでの初恋に破れて以来、世界を放浪する身となった。パリで知り合ったモデルをするシンシア（ガードナー）との恋は熱烈だったが、家庭を持ちたがる彼女とは衝突も多く、彼女の故意の流産が原因で一旦は破局を迎える。リヴィエラでは彫刻家の伯爵夫人リズ（ネフ）と関係を持つが、これは一時の逃避、気休めにすぎなかった。スペイン内戦に義勇軍として参加、束の間のシンシアとの再会に愛は再燃するが、彼女はそこで還らぬ人となってしまう（戦場での二本の煙草にいっぺん火をつける暗喩的なラブシーンは有名だ）。その心の傷を癒したのがＳ・ヘイワード扮する未亡人ヘレンで、ハリーは彼女に亡きシンシアの面影を見、やがてその献身的な愛に安らぎを得て、魂の放浪に終止符を打つことになる。足の怪我から敗血症になりハリーは死を覚悟した……。三人の女優たちがそれぞれに個性を出し、これは華やかな“競艶”と呼んで良さそう。特に、ドイツ出身らしく骨格に色気のある妖婦的ムード漂うネフの存在が効いている。老匠キングの演出もいつになく若々しく、観光描写的なものは置くとしても、ドラマには、極力ヘミングウェイの硬質なタッチを出そうとそれなりに苦慮が見受けられる。

【クレジット】

監督	ヘンリー・キング	Henry King	
製作	ダリル・Ｆ・ザナック	Darryl F. Zanuck	
原作	アーネスト・ヘミングウェイ	Ernest Hemingway	
脚本	ケイシー・ロビンソン	Casey Robinson	
撮影	レオン・シャムロイ	Leon Shamroy	
編集	バーバラ・マクリーン	Barbara McLean	
音楽	バーナード・ハーマン	Bernard Herrmann	
出演	グレゴリー・ペック	Gregory Peck	ハリー・ストリート
	エヴァ・ガードナー	Ava Gardner	シンシア・グリーン
	スーザン・ヘイワード	Susan Hayward	ヘレン
	ヒルデガルド・ネフ	Hildegard Knef	リズ伯爵夫人
	レオ・Ｇ・キャロル	Leo G. Carroll	アンクル・ビル
	トリン・サッチャー	Torin Thatcher	ジョンソン
	エヴァ・ノリング	Ava Norring	ビアトリス
	ヘレン・スタンリー	Helene Stanley	コニー
	マルセル・ダリオ	Marcel Dalio	エミール
	ビセンテ・ゴメス	Vicente Gómez	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

リチャード・アラン　　Richard Allan

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.